

## 見どころ

### 紅葉絵鉢

(竜田川)



笠間日動美術館

### 織部土瓶



笠間日動美術館 (カワシマ・コレクション)

既存の様式にとらわれず、織部、志野、備前、染付など多様な技法を自在に取り入れながら、自らの美を追求した魯山人。

本展の大きな見どころは、笠間日動美術館が長年所蔵してきた魯山人作品と、「カワシマ・コレクション」を比較して鑑賞できることにあります。カワシマ・コレクションは、アメリカで魯山人の評価を高めるきっかけとなったコレクター、シドニー・B・カドローズ氏ゆかりの作品群を基礎として形成された貴重なコレクションで、その多くは制作当時の状態を保ったまま大切に保存されてきました。ほとんど使用された痕跡がないため、魯山人の造形や釉薬の美しさを鮮やかに伝えています。

一方、笠間日動美術館の従来の収蔵品には、実際に使われた器も多く含まれています。

使うためにつくられた器と、ほぼ未使用のまま守り伝えられた器。同じ魯山人作品でありながら、その佇まいは大きく異なります。二つのコレクションを見比べることで、「器は飾るものではなく、使われてこそ完成する」という魯山人の思想と、「作品そのものが持つ芸術性」の双方を感じ取ることができるでしょう。

晩年、魯山人は織部焼の人間国宝に推挙されながら、二度にわたる説得にも応じず辞退しました。その理由を本人が明確に語ることはありませんでしたが、禅の言葉「無位の真人」※に通じるように、地位や名譽に縛られず、自らの美意識を貫こうとしたのではないかと考えられています。

こうした生き方は、その作品世界にも色濃く表れています。器の中に自然を映し出し、料理を芸術へと高めようとした魯山人。既成概念にとらわれず、独自の感性を貫いて生み出された作品は、今なお私たちを魅了し続けています。多彩な作品群を通して、二人の芸術家が築き上げた壮大な「宇宙」をぜひ堪能ください。

(周南市美術博物館学芸員 今井良枝)

※肩書きや地位、評価にとられない本来の自分。

参考文献：『魯山人の宇宙』笠間日動美術館

— 魂を削る美が欲しい

# 魯山人の宇宙 7/26日<sup>日</sup>まで開催中

9:30~17:00(入館は16:30まで) 月曜休館 ※ただし7月20日(月・祝)開館、翌21日(火)休館

観覧料 一般:1,300円(1,100円) 大学生:1,000円(800円)

18歳以下無料

\* ( )内は前売および20名以上の団体

\* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料

\* 本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

自邸ペランダでくつろぐ北大路魯山人 1955(昭和30)年

NHKドラマ「魯山人のかまど」でも使用された作品 22点を展示しています。



美術博物館ホームページはこちら

カフェ  
テラス  
まど

魯山人の宇宙展 特別メニュー

若葉の紅葉(わかばのもみじ)  
～あんみつ抹茶アイス添え～  
700円(税込)お庭を眺めながら  
ゆったりとした時間を  
お過ごし下さい。

誕生

## 50周年 ねずみくんのチョコッキ展

なかえよしを・上野紀子  
想像力のおくりもの

2026年8.7金~9.27日

月曜休館 ※ただし9月21日(月・祝)開館、24日(木)休館

【主催】周南市美術館、yab山口朝日放送  
【後援】山口県、山口県教育委員会、周南市、周南市教育委員会  
【特別協力】ポプラ社、ねずみくんのチョコッキ展実行委員会  
【協賛】J A 共済、エルクホームズ 【アートディレクション】福島よし恵

観覧料

一般:1,400円(1,300円) 大学生:1,100円(1,000円)

18歳以下  
無料

(\*)内は前売および20名以上の団体

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方と  
その介護の方は無料

\*本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

前売券7月7日(火)販売開始 美術館、文化会館での販売は8月6日(木)まで

絵本『ねずみくんのチョコッキ』は、1974年、作家・なかえよしを、画家・上野紀子夫妻の共同作業によって生まれました。

おかあさんが編んでくれた、ぴったりの赤いチョコッキを嬉しそうに着るちいさなねずみくん。

「いい チョッキだね ちよっと きせてよ」

あひるくんと言われてチョコッキを貸してあげたねずみくんでしたが、あひるくんはさるくんに、さるくんはあしかくんにチョコッキを貸すことになります。だんだん大きな動物が登場してきて、ねずみくんの大切なチョコッキは…。



©なかえよしを・上野紀子/ポプラ社

チョコッキを借りて着る、というシンプルな繰り返しのお話ですが、次々と登場する個性豊かな動物たちがチョコッキを着るたびにハラハラドキドキ、驚きつつもほっとする予測を超えた結末に、夢中になって何度も読んだという方もいるのではないのでしょうか。

「ねずみくんの絵本」シリーズは50年以上にわたって刊行され、最新刊の『ねずみくんの花ことば』で44巻を数えます。世代を超えて読み継がれ、今年4月からは、アニメの放送も始まりました。

本展では、「ねずみくんの絵本」シリーズの原画やスケッチなど約200点を始め、シュルレアリスムの油絵「少女チコ」シリーズ、なかえよしを・上野紀子夫妻の絵本作りの原点『ペラペラの世界』の原画なども展示します。長年にわたりふたりが追求しつづけてきた、「想像することの大切さ」を感じるとともに、二人三脚で作りだした豊かで温かな世界をお楽しみいただければと思います。



(周南市美術館学芸員 前山希望)

## ①動物園飼育員&amp;学芸員によるギャラリートーク

8月29日(土) 14:00～

- 講 師/柴田智子(周南市徳山動物園飼育員・学芸員) 前山希望(周南市美術館学芸員)
- 集合場所/周南市文化会館 地下展示室
- 解散場所/周南市美術館
- 定 員/50名(先着順・要事前申込み) ※定員になり次第締め切らせていただきます
- 参加費/無料 ※ただし本展覧会の観覧券が必要です(半券不可)

参加者と一緒に本物のネズミや展示作品を見ながら、ネズミの生態や作品に登場する動物について、飼育員・学芸員がおはなしをします。

## ②絵本読み聞かせ

9月13日(日) 11:00～、14:00～

- 読み手/yab山口朝日放送アナウンサー
- 場 所/周南市美術館 講座室
- 定 員/50名(先着順・要事前申込み) ※定員になり次第締め切らせていただきます
- 参加費/無料 ※ただし本展覧会の観覧券(半券も可)が必要です

申込方法/①②いずれもお電話でお申し込みください 美術館(TEL 0834-22-8880)

関連イベント

LAWSON

うなぎ 土用の丑の日

ご予約承り中

ローソン徳山動物園前店 0834 32-8363

※画像はイメージです。

## びほく 美博クイズ~! &lt;150&gt; もんだい

「魯山人の宇宙」で展示している  
「炆器」ってどんなやきものだろう?ヒント しがらき やき とこなめ やき ゆう めい  
信楽焼や常滑焼が有名だよ

周南市美術博物館  
常設展示

- 常設展観覧料：一般200円(160円) 大学生等100円(80円) ( )内は20名以上の団体  
 ※18歳以下および70歳以上無料 ※企画展の観覧券で常設展もご覧いただけます。  
 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日：月曜日 ※ただし、7/20開館、7/21休館

展示室 4 林忠彦記念室

茶室Ⅱ 9/30(水)まで

不審庵は、千利休が営んだ茶室の名で、表千家を代表する茶室です。

「中潜り」は、茶室の庭にある門です。壁の中程の高さに小さな出入口を作り、潜って出入りするようになっています。外露地(待合側)と内露地(茶室側)との間にあり、結界の役割を持っているともいわれています。



「表千家 不審庵 中潜り」  
撮影 林忠彦

庭の中に壁が一枚。戸が開いた部分から、四角く切り取られた向こう側の景色が見えます。今にも誰かが潜り抜けて行きそうな、向こうから誰かが迎えてくれそうな——どこか人の気配を感じさせる作品です。

展示室 5 まど・みちおコーナー

今回の内容の展示は  
9/30(水)までです。

この作品は、いわゆる「ドリッピング」の技法で描かれています。「ドリッピング」とは、「吹き流し」とも呼ばれ、紙の上に絵の具の色水をたらして、それをストローなどで吹いて模様をつくりだします。

小さい頃にこの方法で絵を描いた記憶がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「落日」1961年(昭和36)11月4日



徳山の歴史 特設コーナー

児玉源太郎と陸軍大学校  
6/30(火)~9/27(日)

今年は、児玉源太郎の没後120年にあたります。

特設コーナーでは、児玉源太郎にまつわる資料を紹介しています。

陸軍大学校の初代校長をつとめた児玉源太郎は、ドイツの軍制や戦術を取り入れ、近代軍制の整備に尽力しました。



メッケル(1842-1906)



サンデー連載「木鼠將軍」

渡辺おさむ展イベント

渡辺おさむワークショップ —キュートゲトゲを作ろう—



渡辺おさむ氏

周南市出身の現代美術作家・渡辺おさむ氏によるワークショップを開催します!おさむ氏のスイーツデコアートの秘密を聞いて、トゲトゲフグを、スイーツデコアートでかわいく「キュートゲトゲ」に変身させちゃおう!さらに、参加者みんなで力を合わせて大きなスイーツアートづくりにも挑戦しよう。

- 日時/8月23日(日) 14:00~16:00
- 会場/周南市立徳山駅前図書館交流室2
- 対象/小学生とその保護者 ■ 定員/30組
- 参加費/500円(材料代として)

「キュートゲトゲ」  
作品イメージ



公式HP▶



申込方法(予約制)

周南市立徳山駅前図書館のホームページからご予約ください

予約開始日

7月15日(水) 10:00~

展覧会情報

渡辺おさむ展 ORIGIN 11月13日(金)~12月27日(日)

美博クイズ~!(150) こたえ

陶器と磁器の中間的な性質を持つやきものだよ

原料は粘土で、高温(1200℃~1300℃)で焼いて作られるよ。光を通さず、水を通しにくく、たたくとかたい音がするんだ。



備前竹一重切花入 (笠間自動美術館)

演奏堂

CD・DVD・テープ他  
販売専門店

周南市銀南街43  
TEL・FAX 0834-21-7559



## ART and HISTORY インフォメーション

周南

周南市美術博物館 ☎0834-22-8880

企画展「魯山人の宇宙」 ～7/26(日)

周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119

コレクション展「時をみつめて」  
～8/16(日)尾崎正章常設展「ふるさと福川を描く」  
～8/23(日)

こもれび保育園 作品展 ～7/20(月・祝)

富田幼稚園 作品展 7/23(木)～8/2(日)

防府

山頭火ふるさと館 ☎0835-28-3107

企画展「令和8年度 新収藏品展」  
～7/20(月・祝)

山口

山口県立美術館 ☎083-925-7788

金曜ロードショーとジブリ展  
7/18(土)～10/12(月・祝)

中原中也記念館 ☎0839-32-6430

特別企画展「詩の眩灯(げんとう)  
——高森文夫と中原中也」  
7/30(木)～10/4(日)

萩

山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400

開館30周年記念  
This is SUEKI—古代のカタチ、無限大!  
7/3(金)～9/23(水・祝)

萩博物館 ☎0838-25-6447

夏期特別展  
「悪者生物展～野生生物とあゆむ、  
私たちの未来～」  
7/11(土)～9/27(日)

長門

香月泰男美術館 ☎0837-43-2500

香月泰男 ヨーロッパへの旅 スペイン編  
特別展示 香月泰男のシベリヤ・シリーズ  
7/2(木)～9/27(日)

下関

下関市立歴史博物館 ☎083-241-1080

企画展「下関名所選—絵図・写真で見る  
下関の景勝地—」  
7/10(金)～10/4(日)

～レゾナック永源山公園の中にある美術館～

## 周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

- 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 観覧料: 一般200円(160円) 学生等100円(80円)  
( )内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、  
戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
- 休館日: 月曜日 ※ただし7/20は開館、7/21は休館

アクセスは  
こちらを  
ご覧ください

企画展

中・小展示室

8月16日(日)まで開催中

## コレクション展 時をみつめて

当館コレクションより、尾崎正章が活躍した一水会ゆかりの画家たちの作品を紹介します。小川游、寺井力三郎、平野敏子、岩池和代ら4人の画家の風景や人物、静物など多彩な表現をたどりながら、それぞれの画家が見つめた「時」を浮かび上がらせます。



展示風景



展示風景

常設展

大展示室

## 尾崎正章常設展

「ふるさと福川を描く」8月23日(日)まで開催中

尾崎正章は、小学4年生頃から福川で育ちました。進学や療養のため一時故郷を離れますが、30代で帰郷し、生涯この地で暮らしました。福川漁港の漁師たち、思い出の中の塩田、工場地帯など、尾崎がとらえたふるさとの風景や、生き生きと働く人々の姿をぜひご覧ください。



展示風景

最新の情報は、当館ホームページでご確認ください。http://s-bunka.jp/kyoubi/



さみしいですが、毎年同じ場所に営巣する個体も多いといわれます。来年から文化会館は大規模改修により長い休館となります。いつも賑やかだった文化会館が静かになっていて、戻ってきたサギたちはびっくりするかもしれませんね。(中村)

ミニコラム  
ガス燈

周南市文化会館は様々な顔を持っています。コンサートはもちろん、お稽古、試験会場、会議室、そして、人間以外のいきものにとっては重要な生活の場でもあります。

今年の4月頃、サギの夫妻たちが文化会館のすぐそばの大きな木の上に入居してきました。

しばらくは敷地内の枝を拾って新居の制作をしていたのですが、「おや、最近は巣でじっとしていることが多いな?」と思っていたらいつのまにかヒナが生まれていました。それから怒涛の子育ての開始です。夫妻は子守をしながら、交代でエサを求めて飛び去って行く。ピーピー鳴いてエサをねだっていたヒナたちもどんどん大きくなって今では危なっかしい飛行を見せてくれるまでになりました。そろそろ訪れるだろう巣立ちはさみしいですが、毎年同じ場所に営巣する個体も多いといわれます。来年から文化会館は大規模改修により長い休館となります。いつも賑やかだった文化会館が静かになっていて、戻ってきたサギたちはびっくりするかもしれませんね。(中村)